

美術館利用者・県民からの意見聴取結果について

1 調査目的

美術館リニューアル基本構想策定に当たり、今後の美術館の在り方や求められる機能などリニューアルの方向性を明確にするための参考として、利用状況や美術館に対する意見・希望についての調査を行う。

2 調査対象

(1) 美術館利用者（展覧会，創作室，図書室，県民ギャラリー，造形遊戯室）

(2) 一般県民（高校生・大学生，一般）

- ① 高校生は県内の美術科，美術部のある公・私立高校から地域性を勘案し14校を抽出し，アンケートを実施
- ② 大学生はキャンパスメンバーズ大学から美術関係の学科のある2校を抽出し，アンケートを実施
- ③ 一般はホームページ上で実施

3 調査期間 平成28年2月18日～3月18日

4 主な意見等

- いつ来ても静かで清潔で満足している。
- 日常を忘れるすてきな空間
- 展示室の壁，照明の改善が必要
- 創作室は全国的にも貴重な施設，これからも残してほしい。
- 利便性の向上（高齢者，子ども，開館時間，料金，ショップ，レストラン，分かりやすい諸室配置等）
- 県民ギャラリーの位置と大きさを見直してほしい。
- ループルの駐車場を駐車場内にできないか。利便性の向上につながる。
- 参加型のイベント，気軽に参加できるイベントの開催を希望
- 他の団体との連携イベント
- 美術館にわくわく感がほしい。
- 宮城県・東北の美術史研究と作家の作品展示収集を通し，その精神性を紹介していくことは重要な使命
- さまざまな層に対応した展覧会



リニューアル基本構想策定に向けての参考とする。